

日産シビリアン(W41型) 標準タイプSLバス & 本格タイプSLバス解体マニュアル

本マニュアルは当社で架装した、日産シビリアン(W41型)を種車とした標準タイプと本格タイプSLバス を解体する場合の手順および留意事項を記載したものです。
種車である日産シビリアンの解体要領については、日産自動車にお問い合わせください。

目 次

1	構造概要	-----	P 2
	(添付資料 ー 部位別 材料一覧	-----	添付 P 1, 2)
2	解体時の留意事項	-----	P 3
3	解体手順	-----	P 3, 4
4	一般事項	-----	P 4, 5

適用車両

(標準タイプSLバス)



(本格タイプSLバス)



- ・ 本マニュアルは、両架装車両の架装部位の解体要領を示しています。
掲載の写真は実物と異なる場合がありますのでご了承願います。
- ・ このマニュアルは解体作業の参考として提供させていただくものです。
本マニュアル以外の一般的な部位の解体に当たっては、解体業者様にて
ご判断の上、作業していただきますようお願いいたします。

部品形状変更に伴い、3-1)-(1)変更					
写真一部差替え	16-9-30	1	持田	徳田	楠瀬
新規発行	09-3-11	N	浦野	平林	藤本
変更内容	発行日	NO	部長	課長	担当

1. 構造概要

本車両は日産シビリアン(W41型)を種車として、外観デザインをSL風に架装したものです。

各外装部分の装備は、樹脂パネル、アルミパネル、鋼板を組み合わせ、車体外面に、取り付けをしたものです。

車種仕様は本格タイプと標準タイプの2種類のデザインとなっております。

両車種の差異は

本格タイプ——車体前後および屋根部分に装飾部品を配置してSL風に架装したものの。

標準タイプ——本格タイプに対して、車体前部をほぼ同様の装飾を実施し、車体後部はシール貼り付けにより簡素化したもの。

となっております。

両車種とも、サイズの差異はありますが、装着部品は同様の固定方法となっております。

主要部品の構成と材料

主要部品の構成と材料		標準タイプ	本格タイプ
①	フロントボディ中央部分(ボイラー形状部品) アルミ(t1.0~3.0板、t2.0アングル材)加工部品を車体にリベット固定	○	○
②	フロント大型バンパー 鋼材(t1.0~3.2板、t3.0アングル材)加工部品を車体フレームにボルト固定	○	○
③	フロントボディ側面部分(導風板形状部品) アルミ(t1.0~2.0板)加工部品を車体側ブラケットにボルト固定 車体側ブラケットは鋼板(t1.0~2.3板)部品を車体にリベット固定	○(上部のみ)	○
④	フロントボディ上側部分(ボイラー形状部品) アルミ加工部品(t1.0~3.0板、t2.0アングル材)を車体にリベット固定	○	○
⑤	前方、中央ルーフ部分(タンク、煙突等形状部分) FRPハンドレイアップ成形樹脂の装飾部品を車体にリベット固定 ステンレスパイプを車体にボルト固定 車体側ブラケットはアルミ及び鋼板加工部品を車体にボルト&リベット固定	○	○
⑥	後方ルーフ、側面部分(機関室形状部分) アルミ(t1.0~2.0板)加工部品を車体にリベット&ボルト固定	----	○
⑦	中央側面車体部分 FRPハンドレイアップ成形樹脂部品を車体にボルト固定 シールデザインテープを車体に貼り付け	---- ○	○ ----
⑧	後部車体部分 アルミ(t1.0~2.0板)加工部品を車体にリベット固定 シールデザインテープを車体に貼り付け	---- ○	○ ----
⑨	リヤ大型バンパー 鋼材(t1.0~3.2板、t3.0アングル材)加工部品を車体フレームにボルト固定	○	○
⑩	車体前後、下部ガードパイプ ステンレスパイプを車体にボルト固定	----	○

注)上記各部品の配置については、添付 部位別材料一覧(標準タイプ—添付 1ページ、本格タイプ—添付 2ページ)を参照願います。

2. 解体時の留意事項

- 1) 作業を安全に行うため、定められた作業服、作業帽、安全靴を着用し、作業内容に応じて保護メガネ、耳栓、防塵マスク等の保護具を着用してください。
- 2) 高所作業については、安全帯、足場の確保等転落防止処置を講じてください。
- 3) 本車両に架装されている部品は、基本的にはボルト、ビス、リベットによる締結構造となっています。
解体にあたっては、リベット取り外しにはドリルにより、ボルト、ビス取り外しには一般工具により作業が可能であり、特に専用工具の使用は必要ありません。
- 4) 架装部品の主な材料は前ページに示した通りです。
各種材料で組み付けられていますので、分別等の際し、適切な処理をしてください。
FRP等樹脂部品については、専門の処理業者に処理を依頼してください。
(樹脂材料については、部品裏面に材料名表示を実施しています。)

3. 解体手順

- 1) 屋根部分の架装部品から解体をしてください。
 - (1)後部機関室形状部分を取り外ししてください。
 - ①側面アルミ板、後部アルミ板のリベットをドリルで取り外し外板をはがします。
 - ②側板が外れたら屋根板中央の作業板を取り外し天井の支え板をはずします。
屋根側面の固定部分をはずして、屋根を持ち上げとりはずしてください。
(重量物で大物部品のため、クレーン、ホイストを使用して下ろしてください。)



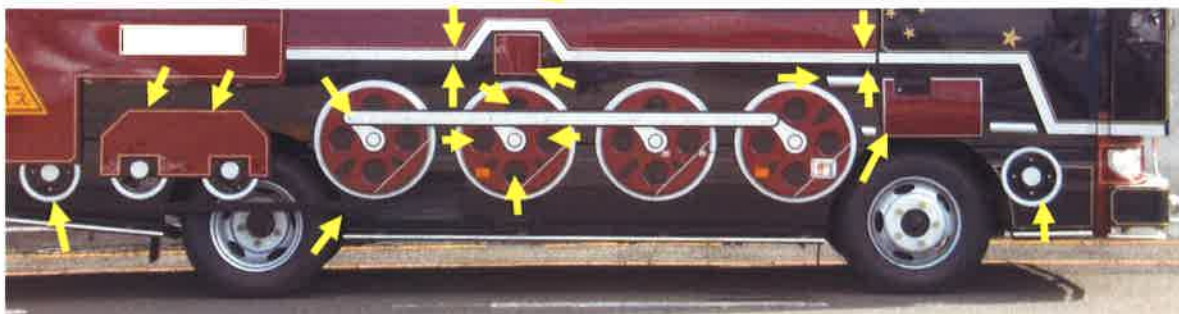
注)アルミパネル内側にスチレンボードの断熱、防音材を接着しています。
はがして分別処理してください

①各部板端のリベットをドリルで外します

← (矢印部分を固定しています)

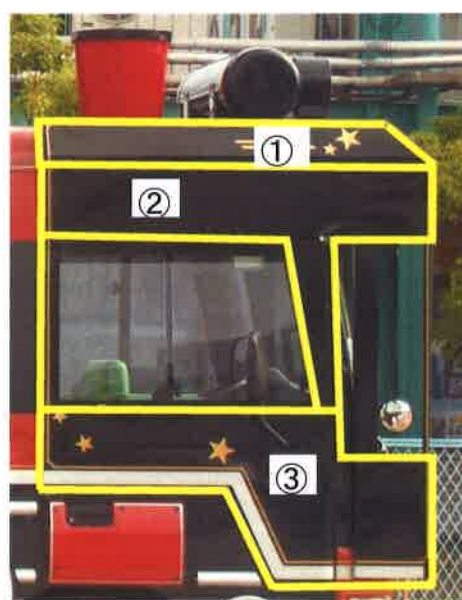
- (2)屋根上の樹脂、ステンレスパイプ部品を取り外してください。
各部品とも、ベース板の上、又は直接車体屋根にリベット、ビスで固定しています。
(部品ごとに材料が異なりますので、種別ごとに区分してください。)
- (3)車両前部分の煙突、ヘッドライト等の部品を取り外してください。
各部品ボルト固定しています。
(ヘッドライト部品は車両のランプを使用しています。ガラスのため、破損に注意してください。)

- 2) 車両前部分のボイラー形状部品を外してください。
側面部分を車体又はブラケットにリベットで固定されています。
- 3) 車両側面の樹脂部品を取り外してください。
車輪は中央4箇所の黒丸シールをはがして、取り付けボルトを緩めます。
各部品の固定部分は下記部位です。



- 4) 車両前側面の導風板形状部品を取り外してください。
リベットおよびボルトで固定されています。
側板は一体で加工されていますので、末端の固定箇所を外して、部品ごとに取り外します。
各部品は視認できる部分でボルト固定されています。

注) 標準タイプは③部分はありません。



5) その他部品の取り外し

(1) 前後バンパー

車両フレームにブラケットを取り付けバンパーを固定しています。
各接続ボルトを緩めて取り外してください。

リヤバンパー部分は、電装部品(ランプ類)、手すりパイプ(ステンレス)、泥除け(塩ビシート)化粧ロープ、アルミ縞板ステップ等が組み付けられています。それぞれの部品種別ごとに分別処理願います。

(2) 下部ガードパイプ

車両前後、左右とも 各接続ボルトを緩めて取り外してください。

4. 一般事項

- 1) 本車両に含まれる 断熱材、FRPの解体後処理については、
「適正処理・再資源化協力事業者一覧表」
社団法人 自動車車体工業会ホームページに掲載
を参照し、適正に処理してください。
- 2) 本車両に含まれる特別架装部分での「使用済み商用車架装物の事前選別対象物」は
樹脂部品（FRP、スチレンボード）、ガラス部品 です。
（基準車部分は除きます。）

以下の基準で処理をお願いします。

処理品目	樹脂部品、ガラス部品
危険区分	該当せず
産業廃棄物区分	廃プラスチック類、ガラスくず
代表的な除去方法	車両から取り外す
工場内保管方法	所定パレット内に保管
処分方法	シュレッダー業者又は専門回収会社に処理委託

3) お問い合わせ窓口

本 解体マニュアルに関してのお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社 オートワークス京都 コンバージョン営業・開発部 京都開発グループ
TEL : 0774-46-7072